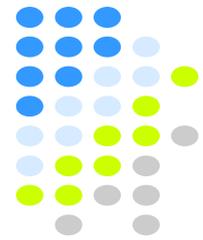


とっとり・グローバルウオッチ

とっとり貿易支援センター情報誌



2010年9月15日

VOL. 46

最新上海 ～現地レポート～ 30

コーディネーターから見た鳥取物産展 in 上海

上海万博・日本館で開催される鳥取県イベントにあわせて、8月19日から25日までの7日間、鳥取県物産展が開催された。開催場所は、上海市の中心に位置する観光地として有名な「新天地」から程近いG L ジャパンプラザで行われた。この物産展では県産品の試飲・試食販売、展示、観光情報の紹介、鳥取県文化の紹介などで、多様な客層にアピールする催しとなった。

■試食販売でPR

本物産展には、7社26アイテムが出展した。主な商品は水産加工品で、上海の人々にはなじみのないものや食べたことがないものもあるため、試食販売によって味見してもらうだけでなく、調理方法や食べ方を教えていた。また、冷凍食品のように買ってすぐ食べられるものや調理が簡単なものは売れ行きが良かった。

物産展前半は週末であることや鳥取県の伝統的なお祭り行事であるしゃんしゃん傘踊りイベントの前後で来客数が増えたことで日増しに売上が伸び、出展者の方々も手ごたえを感じられたようだ。

■展示商品に高い関心

上海万博の日本産業館でも展示されたファミリー(株)のマッサージ機、三洋電機コンシューマエレクトロニクス(株)の炊飯器や電気自転車、三朝温泉ミストが展示された。ファミリー(株)のマッサージ機以外は、中国で販売されていないが、販売価格を尋ねる人も見られた。マッサージ機は展示だけでなく実際に体験することができたため、多くの人がハイテクマッサージ機を堪能し、

そのまま眠ってしまう人も少なくなかった。三朝温泉ミストは、やはり女性による関心が高く、展示商品の一部をサンプルとして配布した。近年、中国人女性も化粧をする習慣ができ、特に上海などの都市部の若い女性における化粧率は、うなぎ上りに高まっている。肌につけるものには食品同様、安全性という要求が高く、日本の化粧品に対するイメージは高い。

■文化紹介・イベント

20日(金)と21日(土)の夜7時からしゃんしゃん傘踊りイベントを催した。しゃんしゃん傘踊りは上海万博の日本館でも披露されていた。上海の人にとって独特の音楽と着物、踊りなどは日本らしさを感じるものとなったに違いない。イベントの前後では、通常よりも来客数が多く、平井知事により司会進行された21日のイベントの際は、期間中最も多い来客数となった。これに伴い商品売上額も21日が期間中最も多い結果となった。

今回の物産展では、商品の販売だけでなく文化や観光の紹介といった多目的なイベントであった。商品の販売という点に特化するならば、商談会や展示会のほうが効率的だろうが、観光誘致やブランドイメージ向上といった点を重視するならば、こういった一般人への宣伝活動となる物産展も必要になる。こういったイベントは、単発になってはもったいない。上海の人々の中に鳥取県という印象を残していくためにも、今後継続的に開催していけるよう尽力したい。

目次

最新上海 ～現地レポート～ 30	P 1
鳥取県が上海物産展・ 商談会を開催しました	P 2 P 3
新メンバーのご紹介	P 3
現地発！ 台湾月刊レポート 39	P 4 P 5
異動のご挨拶	P 5
お知らせ	P 6

世界の祝日 10月

■中国	1～7日	国慶節
■香港	1日	国慶節
	16日	重陽節
■韓国	3日	建国記念日
■タイ	24日	出安居
	25日	フルロコン大王
■米国	11日	コロンブス記念日

出所：ジェット通商弘報
「世界の祝祭日2010年版」から



写真左：
多くの方がファミリー(株)のマッサージチェアを体験した

写真右：
試食する消費者

鳥取県が上海物産展・商談会を開催しました

継続的な海外展開によって成功を掴む

物産展・商談会の会場となったGLジャパンプラザは、上海の繁華街「新天地」に近接し、店舗上階は高級マンションであることから、中国人はもとより、欧米人の来店も多く、また、日本製の食料品を広く取り扱っていることから、日本人の来客も多数があった。

この物産展・商談会は、次の3項目を目的として実施した。

- ① 県内の食品物産の展示販売、試食により県産食品のPRを行うこと。
- ② 県内生産の最先端家電の展示・体験による商品PRを行うこと。
- ③ 現地有力バイヤーを招致し、具体的な取引に繋がる商談を促進すること。

また、期間中21日には、会場にて芸能披露イベントとして、しゃんしゃん傘踊りを実施し、知事による鳥取県PRを行ったところ、地元メディアの取材を受けるなど大きな反響もあった。

■物産食品の展示等

商品そのもの試食だけでなく、商品を使った調理（使い方やレシピ）による提案を行ったことから、多くの方が試食され、会場は賑わいを見せた。商品の味に対する反応は、日本との味覚の違いから、好不評については明暗が分かれたが、この評価は今後、出展企業が戦略を練るうえで貴重な意見となった。

■最先端家電の展示・体験PR

電気炊飯器、アシスト自転車については、いずれも好評であった。会場が高級マンション街であったことも影響してか、「高くても日本製品が欲しい」、「展示が終わったら売って欲しい」等々要望が多くあったものの、今回は展示のみであったため、来場者が残念がって帰っていた。

中国の街中においては、電動自転車（バイク）は多く見られるものの、アシスト自転車のように自力での走行時に補助をしてくれる仕組みではないことから、珍しさから試乗する方も多かった。

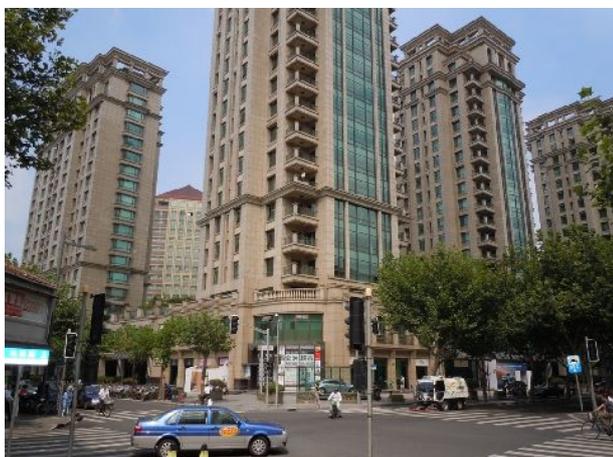
■バイヤー招致による商談促進

物産展開催にあたっては、事前に現地コンサルタント（㈱チャイナワーク：鳥取県産業振興機構の上海コーディネーターであり、前頁にレポート掲載している）へバイヤーへの周知を依頼しており、遠くは北京市からも来場があり、商品に興味を示していた。また、サンプルとして商品を多数購入されるなど、具体的な輸出へ向けた話が出るなどの成果があった。

今回、商談において成果のあった企業は、過去、多くの地域で商談会等に出展していたことも大きく影響しているように思う。通常、ただ1回の商談で結果が出るというのは非常に稀であり、海外への販路拡大に向けては企業において展示会等への継続的な参加は必要になってくる。

また、海外へ向けた販路拡大を行うには、販売代理店の選定、在庫等のリスク管理、輸送コストを加味した価格設定等々さまざまな方面から検討を行っての判断になる。海外における商談会等は、これらを検討する上でも重要な役割を持っており、県として、今後もこういった海外販路開拓の機会を提供する予定である。

商談会を継続的に開催するためには、県内企業の皆様が「海外へ販路拡大等したい」という思いを持っているかどうかにかかってくる。そのため、県は、(財)鳥取県産業振興機構はもとより、県内企業の皆様と連携をとりながら、本当のニーズを把握した上で、海外進出・輸出入等の積極的支援を図っていきたい。



物産展会場 (GLジャパンプラザ) 正面入り口より地階へ



上海物産展の様子

《物産展概要》

会期：平成22年8月19日(木)～25日(水) 7日間

会場：中国上海氏馬当道222弄1-6号 華府天地地下1階 GLジャパンプラザ

主催：鳥取県

出展企業：10社（物産7社、展示3社）

企業名	所在地	取扱商品
(株)島谷水産※	境港市	たたき身、つみれ、ハバーク（鱻、鯛）
北陽冷蔵(株)※	境港市	クリームコロッケ（か、Eビ、貝柱）
(株)福栄※	境港市	いか醤油漬け
(株)小倉水産※	境港市	コロッケ（ちりめんじゃこ）
(株)越河	米子市	甲羅グラータ、紅スワイクニ棒肉、かにみそ甲羅焼き、かみそ
ゼネラル貿易(株)	鳥取市	コラゲン
(有)梅崎水産	境港市	食用パウダー（か、舞茸）、舞茸チップス、スワイクニ入り七味唐辛子
ファミリー(株)	大山町	マッサージチェア
三洋電機コンシューマエレクトロニクス(株)	鳥取市	電気炊飯器、電動アシスト自転車
三朝温泉旅館協同組合	三朝町	三朝みすと

※は、鳥取県境港水産物輸出入促進協議会として共同出展。

【鳥取県商工労働部通商物流室 濱口】

新メンバーのご紹介

ジェットロ鳥取貿易情報センター 田口係長

このたび、ジェットロ東京本部より赴任して参りました田口と申します。東京本部では貿易投資相談課に配属され、企業の皆様に、海外制度情報や貿易実務につき、情報提供させて頂いておりました。商社やメーカー上がりの貿易アドバイザーや、多くの企業の皆様と日々接することで、多少なりとも民間の感覚というものを、自分の中に取り込むことが出来たかと思っております。担当地域は東南アジアでしたが、国際弁護士を率い、各地で相談会や法務セミナーを開催しました頃、中国への関心の高さを再認識させられました。鳥取県でもロシア、韓国、中国への関心が高いことから、極東や東アジアについて、益々勉強せねばと感じております。

さて、私は両親の仕事の関係で、ヒマラヤの麓ネパールの首都カトマンズで生まれ、幼少時代はネパールとインドに住んでおりました。その後、親の仕事の関係で福島県に移り住み、大学で東京に出るまで会津若松に住んでおりました。10代のほとんどを会津で過ごしたため、故郷というやはり『会津』という思いがあります。自然豊かな鳥取県は故郷に似た香りがし、とても居心地よく感じております。むしろ、会津には海が無いことから、鳥取に赴任し、生活の近くに海があることがとても新鮮に感じられます。地元で獲れた海の幸をすぐに頂けるのも、大変嬉しい限りです。

会津人の気質と言えば、頑固で堅物といったところでしょうか（私にはあまり流れていないようですが）。また、戊申戦争で戦った白虎隊でも知られています。私も小学校低学年から、白虎隊の演武は事ある度にしてきた記憶がございます。今ではすっかり忘れてしまいましたが、夏の運動会や地元の祭り、学生の出し物と言えば、羽織袴に刀を持ち、厳かな音楽に合わせの演武です。最

後は歴史のとおり、城が炎上する様を見て涙し、自ら果てます。当時田舎の少年だった私は、同年代の少年は全国遍く、このように演武しているものかと思っておりましたが、これも会津らしい一面でしょうか。

自分の生き立ちも影響し、大学ではアジアや途上国に関心を持ち、タイに留学して、日系企業現地進出の歴史や、現地医療ビジネス（日系私立病院の経営）について研究しておりました。途上国と言うとすぐに『貧困』や『ODA』といった視点に偏りがちですが、ビジネス面から見たいという強い思いがありました。そういったところから、海外で活躍される日本企業の方々との接点が増え、何かしら彼らのお役に立てればと、ジェットロを志望するに至りました。

自分の専門や経験の有無に拘らず、アジアや欧米を含めて広く興味を持ち、多くの人と触れ合い、時にはお叱りも受けつつ勉強していきたいと思っております。まずは、企業の皆様のお役に立てる人材になれるよう精一杯



努力していきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

写真：
トルコのキャパドキアにて

★ジェットロ鳥取貿易情報センター★

住所：鳥取市若葉台南7-5-1

電話：0857-52-4335

FAX：0857-52-4336

【ジェットロ鳥取貿易情報センター係長 田口】

現地発！台湾月刊レポート 39

台湾における日本語の現状

台湾は親日的といわれるが本当であろうか。また日本や日本製品に興味を持ってもらうため、親日的であり続けるためには、何をしたら良いだろうか。いくつかの情報から考察する。

台湾において実質日本大使館にあたる財団法人交流協会が、2010年3月「台湾における対日世論調査」の実施結果を発表した。「最も好きな国は？」との質問に52%が「日本」と回答した。2位は「米国」（8%）、3位が「中国」（5%）となり台湾人の親日ぶりが、はっきりと示された。しかしその一方で「今後最も親しくすべき国は？」の質問には、33%が「中国」を選択。31%の「日本」、16%の「米国」を上回った。台湾人が、これからの中台関係について経済的に期待しており、日本は好きだが日本よりも仕事をしやすい中国に期待する、という状況がはっきりしてきたようだ。ちなみにこの調査は、2009年12月から2010年1月にかけて20歳から80歳の約1,000人を対象に行われた。

では、親日であると思われる台湾において日本語はどう教育されているのだろうか。同じく財団法人交流協会によって2010年8月に発行された「2009年度 台湾における日本語教育事情調査 報告書」から台湾において日本語がどのように教育されているのか見てみたい。

●2009年度調査全体集計結果

機関数	927機関
教師数	3,938人
学習者数	247,641人

●日本語学習者の数

年	機関数	教師数	学習者数
1996	342	1,198	161,872
1999	694	1,742	192,645
2003	435	2,496	128,641
2006	513	2,791	191,367
2009	927	3,938	247,641

■若い人々にも広がる日本語教育

以下同書から、「前回の2006年度の調査と今回の調査結果を比較すると、機関数は80.7%増、教師数は41.1%増、学習者数は29.4%増と、すべての項目で増加を記録した事がわかる。ただし、これは調査範囲の拡大による有効回答件数の増加がその要因であると考えられるべきであろう。」と、表を見て、学習者数が増えており日本離れは起こっていないという、ぬか喜びにまず釘を刺している。「では、台湾における日本語学習者の人口比をしてみる。台湾の人口は、約2313万人。この総人口を日本語総学習者数で割ってみると93.4という数値になる。つまり人口比率で考えてみると、台湾では、93.4人に1人

が日本語を学習しているということになる。この数値を「2009年海外日本語教育機関調査結果(速報値)」(2010)における世界各国の学習者数から算出した人口比率を比較してみると、この数値は、韓国、オーストラリアに次ぐ世界第3位の高さとなっている。」これは、私にとって意外であった。普段の観察から当然台湾が世界一であると思っていたからだ。

「日本の高校に当たる、高中・高職ではどのような状況か。まず高中では、政府によって第二外国語教育の振興が図られている。現在、履修可能な第二外国語は七カ国語あるが、そのうち日本語を選択する生徒は、過去五年間の平均で全体の80.4%を占めている。また、高職においても全学習者のほぼ三分の一が、必修科目として日本語を履修している。多くの高職に設置されている“観光事業科”や“餐飲管理科”などでも日本語を必修科目として扱っている機関が多いことから、その割合が高くなっている事が考えられる。台湾では、伝統的に大学中心に日本語教育がなされてきた。しかし全体の半数が高専教育者によって占められていることは、今回の調査で初めて明かされた。今後もこの傾向は、続くと思われられる。」

日本語ができる老年層の減少で日台交流の難しさが心配されている台湾だが、青年層においてしっかりと日本語教育がされている現状は、日本との交流、観光、経済において、強い支援であろう。また、中高年層においても、社会的教育に対する行政側の取り組みがあり、子供に対しても日本語教育の広がりが見られている。一方、学校への個別の質問に対しては「日本語学習者減少」、「日本語教師の不足」という懸念が見られる。日本政府も、将来においては台湾人が日本への理解を続けていくため、日台交流のコミュニケーションツールとしての日本語の強化のため、益々の日本語教育支援が望まれる。

■台湾人の日本に対する関心は高い

一方、日本側でもこのような流れを先取りした動きがある。弊社が受注した「北海道東川町文化、日本語学習留学事業」である。東川町が台湾人留学生に対し補助金を支給することで、一般の日本留学より低い料金で地元の専門学校に、台湾人留学生を誘致することにした。東川町では、台湾に対する募集経験が無いため弊社に依頼してきた。まず学校の目的は、少子化による学生減少の歯止め、留学生増加による収入増加、日本人学生との交流である。東川町は写真の町として有名だ。東川賞や写真甲子園などの催しも行っている。北海道の小さな町にもかかわらず国際交流を積極的に進めている。この事業の町の目的としては、町の人口増加による活性化、収入の増加、外国人の呼び込みによる観光事業の発展、東川の物産を台湾へ輸出するための足がかり、そして台湾にて東川町のファンを増やし、地元住民と外国人の交流による町の国際化などである。これらは、北海道新聞等にも大きく報道された。

＜次頁へ続く＞

弊社が行ったことは、まず2010年春に北海道東川郡東川町並びに同町の学校から台湾留学生募集業務を受託契約。そしてFACEBOOK（SNS）で「北海道東川町ファンクラブ」を作成した。北海道東川町は、台湾ではまったく無名である。よって興味を持つ台湾人の質問に回答し、相互交流を可能にするための場を設けた。ITを駆使し相互交流を図り、北海道東川町の魅力を台湾学生に感じさせることに成功した。実績値としてファンクラブ会員人数600人強集めた。そして結果、わずか2週間で東川町への台湾学生を29人も集める事ができた。現在、彼らは東川町で日本語検定試験の合格を目指すとともに、陶芸、写真、柔道、活花、バーベキューパーティー等、地元民とともに活発な文化交流を続けている。また日本へのワーキングホリデービザを持った学生は、地元農家で働き、東川農産品の紹介にも当たっている。彼らは積極的にBlogなど日記にて公開しており、これが東川町の広告となり、そして呼び水となり、この秋急遽、第2回留学事業が決定した。弊社としても台湾人の日本に対する興味が大いなこと、反響に驚いている。学生は、ロータリークラブ所属の子弟も多く、富裕層である親が同町に興味を持ち観光に訪れたり、東川の物産に興味をもち、何らかの交流を図りたい動きがあるなど輪が大きくなっている。東川米、水なども台中にて発売を模索しているようである。手前味噌であるが、弊社はこの経験を元に、ある意味「産・学・官」連携である留学生誘致事業が成り立つか模索をはじめた。鳥取県でも本事業に興味

を持つ機関が無いだろうか。

★北海道東川町ファンクラブ

参照：<http://www.facebook.com/group.php?gid=107989772554016&v=wall&ref=mf>

★参考文献

「2009年度 台湾における日本語教育事情調査報告書」
財団法人交流協会台北事務所



北海道東川町に台湾人留学生を誘致した。
開会式には台北代表処の徐処長もご臨席いただいた。

【榎スナーク 富田】

異動のご挨拶

JODCバンコク事務所 蒲田氏(前:ジェットロ鳥取貿易情報センター 係長)

お世話になった皆様へ

大変ご無沙汰しております。7月末までジェットロ鳥取事務所におりました、蒲田でございます。来鳥時期は2007年の12月でしたので、ちょうど2年半鳥取で暮らしたことになります。

非常に短い間ではありましたが、その間皆様には本当にお世話になりました。特に企業の方々と顔を合わせ、貿易・投資といったジェットロ事業に関する話題だけでなく、様々な観点のお話を伺えましたことは、これからずっと財産として残ることと思います。勉強することばかりで皆さんのお役に立てなかったのが心残りですが、改めてお礼申し上げます。

また、鳥取に暮らす中で、表情のある海岸線や大山等の豊かな自然に触れ、心がなごむことも少なくありませんでした。私は富山で生まれ育ちましたが、風土や人の温かさという点で北陸に似た部分も多く、素晴らしい環境の中で業務ができたことは本当に幸いでした。

現在はタイのバンコクで国際会議のアレンジなどを行う業務に就いています。お近くにお越しの際は、是非お声掛けいただければと思います。今後も鳥取タイ支部として頑張りたいと思いますので、引き続きよろしくお祈りします！



《タイ王国について》（外務省ホームページより）

面積：51万4,000平方キロメートル（日本の約1.4倍）
人口：6,338万人（2008年末）
首都：バンコク
言語：タイ語
宗教：仏教 94%、イスラム教 5%
GDP：2,730億ドル（名目、2008年）
一人当たりGDP：4,081ドル（2008年）
経済成長率：-2.3%（2009年）
在留邦人数：45,805人（2009年10月）

1980年代後半以降、日本企業は円高を背景に積極的にタイに進出し、タイの経済成長に貢献。現在、在バンコク日本人商工会議所への加盟企業は、約1,300社を数える。1997年7月に顕在化した通貨経済危機に関し、日本は大規模な資金的・人的協力を実施。日タイ経済連携協定の発効により、両国の経済関係の更なる緊密化が期待される。またメコン地域開発を進める上での日本の重要なパートナーである。

【JODCバンコク事務所 蒲田】

お知らせ

「2010 韓国釜山国際水産貿易エキスポ」のご案内

韓国最大の港湾都市、釜山市で開催される展示会です。KOTRA大阪では、本展示会への参観企業を募集しています。

- ★会期：2010年11月11日～13日
- ★会場：BEXCO国際展示場（釜山）
- ★展示規模：13,254 s/m、約270社
- ★展示品目：シーフード等各種水産系食品全般、マリンバイオ など
- ★参観者支援：釜山市海雲台地域のホテル宿泊支援（制限あり）
- ★申込締切：9月30日（木）
- ★問合せ、申込先：
韓国貿易センター（KOTRA大阪）
（担当：李ムヨン）
電話：06-6262-3831
FAX：06-6262-4607

「韓国郷土名産品展示商談会」のご案内

韓国各地方の名産品を一度にご覧いただける、韓国各郷土の名産品専門展示商談会です。是非ご来場ください。

- ★会期：2010年9月28日～29日
- ★会場：マイドーム大阪2階
- ★展示規模：13,254 s/m、約270社
- ★主要出展内容：各種食品、酒類、健康食品、衣類 など
- ★出展規模：約80社
- ★申込締切：9月27日（月）
- ★問合せ、申込先：
韓国貿易センター（KOTRA大阪）
（担当：李ムヨン）
電話：06-6262-3831
FAX：06-6262-4607

第19回インド国際産業&技術フェアジャパンパビリオン出展者募集のご案内

インドにおける御社の省エネ・新エネ・環境関連製品や技術のPR、新規取引先発掘の場として、ぜひ出展をご検討ください。

- ★会期：2011年2月10日～12日
- ★会場：Pragati Maidan
（インド・ニューデリー）
- ★対象：再生エネルギー分野、省エネルギー分野、環境分野ほか
- ★ジェットロ募集企業数：20小間
- ★出品料：無料
- ★申込締切：9月30日（木）
- ★問合せ、申込先：
ジェットロ海外見本市課
（担当：堀田、九鬼、川西）
電話：03-3582-5183
FAX：03-3505-0450

編集後記

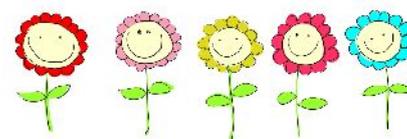
日本人にも大人気の観光王国であるスイスの中には、環境保護のため車両進入禁止となっている街があります。マッターホルン山麓にあるツェルマットは、自治体の条例によりエンジンを搭載した自動車の乗り入れが規制されており、代わりに馬車や電気自動車が走っています。馬車の隣を電気自動車が走っているのを見ると、過去と未来が交錯したような、不思議な気分になります。しかし、騒音や排気ガスがないおかげで、ツェルマットの空気と水は大変清らかで、訪れた人は雄大なアルプスの山々を心から満喫することができます。

最近では世界中で電気自動車が脚光を浴びていますが、なんとツェルマットでは、20年以上前から電気自動車利用に取り組んでいるとのこと！昔から自然を大切にしている心がけをしてきたツェルマットの人々を、私たちも見習いたいものです。【zao】

本誌『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしておりますのでメールでお気軽にお寄せください。また、受信希望（無料）の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ：（財）鳥取県産業振興機構 企業支援部
海外支援グループ（担当：早川）

E-mail：kaigai@toriton.or.jp
TEL：0857-52-6703 FAX：0857-52-6782



とっとり貿易支援センター 貿易に関する相談はこちらの窓口へ

【東部窓口】

- （財）鳥取県産業振興機構企業支援部
海外支援グループ
TEL 0857-52-6703
- ジェットロ鳥取貿易情報センター
TEL 0857-52-4335

【西部窓口】

- （株）さかいみなと貿易センター
TEL 0859-47-3900
- 境港貿易振興会
TEL 0859-47-3905

【その他関係機関】

- 境港管理組合港湾管理委員会事務局
TEL 0859-42-3705
- ジェットロ貿易相談デスク
TEL 0859-45-2203